

地方創生推進交付金事業

成分調整野菜づくりで農業拡大プロジェクト

(事業概要)

慢性透析患者数 32 万人の市場への進出を可能とする成分調整野菜を土耕栽培で取り組む技術を確立し、「大崎ブランド」として生産・販売することで他地域との差別化を図るとともに、農産物の高付加価値化を実現し、農業所得の向上や、就農者の確保を図る。

(事業費)

2,000 千円（うち国庫負担額 1,000 千円）

(事業実績)

1. 研究体制の確立及び研究開発

- 鹿児島大学農学部との連携による研究体制の確立
- 研究計画書の作成
- 大崎町成分調整野菜研究開発推進協議会の発足準備